

# 「広報・県民運動専門委員会」

## 第13回会議 次第

日 時：平成31年2月12日(火)14:00～16:00

場 所：大津合同庁舎 7-B会議室

### 1. 開 会

### 2. あいさつ

### 3. 審議事項

(1) 第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会  
県民運動基本計画(案)について

(2) 第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会  
愛称・スローガン入賞作品決定について

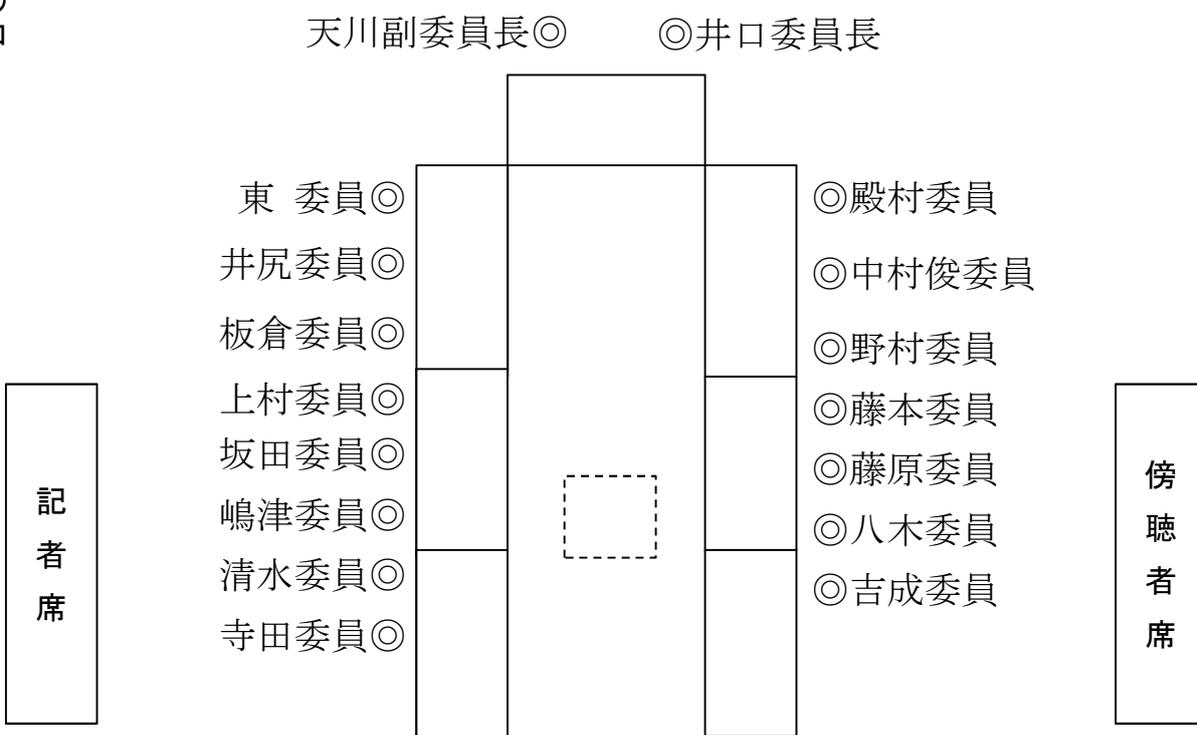
### 4. その他

(1) 福井しあわせ元気国体・福井しあわせ元気大会  
参加者アンケート結果概要について

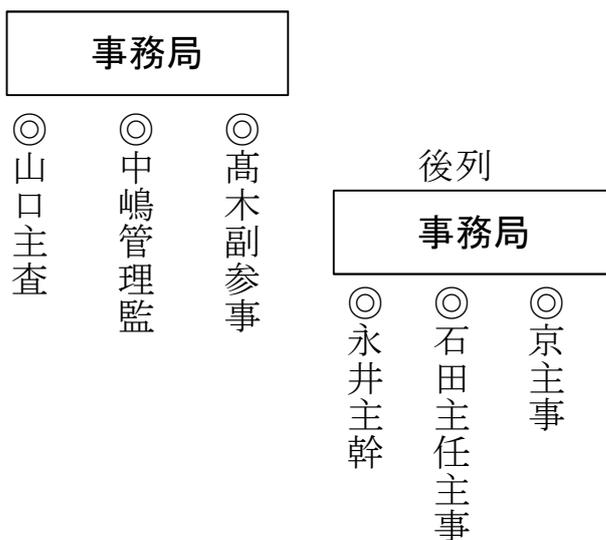
### 5. 閉 会

# 配 席 図

— 出入口 —



— 出入口 —





第79回国民体育大会・第24回全国障害者スポーツ大会

滋賀県開催準備委員会

## 第13回広報・県民運動専門委員会

会議資料



第79回国民体育大会・第24回全国障害者スポーツ大会マスコットキャラクター

チャッピー

キャッピー

日時：平成31年2月12日(火)14:00～16:00

場所：滋賀県大津合同庁舎7-B会議室

## 「広報・県民運動専門委員会」委員名簿

(順不同・敬称略)

分 野	所属団体・役職名	氏 名	備 考
マスコミ	日本放送協会大津放送局 副局長	村松 泰	
	びわ湖放送株式会社 放送管理局報道制作部グループリーダー	坂田 しのぶ	
	株式会社京都放送滋賀支社 支社長	宮本 英樹	今回から 就任
	株式会社京都新聞社滋賀本社 編集局 編集部長	松田 規久子	
	株式会社中日新聞社大津支局 支局長	嶋津 栄之	
	株式会社エフエム滋賀 編成制作部 部長	糸井 孝実	
スポーツ	公益財団法人滋賀県スポーツ協会 生涯スポーツ担当次長 兼 広域スポーツセンター次長	野村 智洋	
	滋賀県障害者スポーツ協会 副主幹	吉成 永部	
経済・福祉・ 観光・社会	滋賀県商工会議所連合会 滋賀県中小企業相談所専門指導室 室次長	藤本 正勝	
	社会福祉法人滋賀県社会福祉協議会 常務理事 兼 事務局長	北川 肇	
	公益社団法人びわこビジターズビューロー 事務局長	天川 隆男	副委員長
	公益財団法人淡海文化振興財団 常務理事 兼 事務局長	東 登志也	
	滋賀県地域女性団体連合会 副会長	上村 照代	
	一般財団法人滋賀県老人クラブ連合会 事務局長 兼 常務理事	八木 兵次郎	
	滋賀県青年団連合会 会長	市岡 新也	
学校関係	滋賀県小学校長会 副会長	中村 康春	
	滋賀県中学校長会 副会長	中村 俊英	
	滋賀県高等学校長協会 会長	大田 祥登	
	滋賀県私立中学高等学校連合会 副会長	寺田 佳司	
	滋賀県特別支援学校長会	井尻 正志	
有識者	同志社大学政策学部 教授	井口 貢	委員長
	株式会社TMオフィス 代表取締役・PRプロデューサー	殿村 美樹	
	コミュニケーション・プランニング c h o c o m a k a 代表	廣瀬 香織	
市町	野洲市政策調整部広報秘書課長	北脇 康久	
	豊郷町企画振興課長	清水 純一郎	
県	滋賀県総合政策部広報課長	藤原 久美子	
	滋賀県県民生活部県民活動生活課県民活動・協働推進室長	板倉 成子	

## 審議事項

## 第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会 県民運動基本計画（案）

第79回国民体育大会・第24回全国障害者スポーツ大会県民運動基本方針に基づき、第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会の県民運動は、県民一人ひとりが、様々な形で大会に参加、協力し、理解を深めることにより、「県民」・「来県者」がともに満足し、「滋賀県」に将来に渡って引き継がれるレガシーを遺す「三方よし」の大会を実現するために、以下の取組を推進します。

また、「健康長寿」、「ボランティア活動の年間行動率」など本県が「日本一」である特徴を活かした取組を展開します。

### 1 取組

**（1）「滋賀といえばこれ！」と思う“もの・こと”で滋賀を訪れる方々を迎え、交流することで、「ええやん滋賀！」と感じてもらえるよう、あたたかいおもてなしをしましょう。**

- ・ 琵琶湖を中心とした豊かな自然や歴史、文化、食など滋賀の地域資源でもてなします。
- ・ 福祉先進県として、県民の誰もが、思いやりの心をもって、障害のあるなしに関わらず、訪れる人が不自由なく快適に過ごせるようもてなします。
- ・ 滋賀県選手はもとより、県外の選手に対してもあたたかな声援で応援します。
- ・ 手作りののぼり旗や横断幕などで歓迎します。
- ・ あいさつ運動やマナーアップ運動を展開し、明るい笑顔で元気なあいさつ、親切な応対等、琵琶湖のようにさわやかにもてなします。
- ・ 花いっぱい運動やクリーンアップ運動を展開し、琵琶湖・河川・道路等の環境美化に努め、きれいな街でもてなします。
- ・ 交通安全運動や防犯運動を展開し、安全・安心に過ごせるようにします。

**（2）いつまでも健康でいられるよう、「する」「みる」「支える」といった様々な関わり方で親しめる「マイスポーツ」を見つけましょう。**

- ・ デモンストレーションスポーツや会場地市町等におけるスポーツ教室、各種スポーツイベント等に参加します。
- ・ 障害のあるなしや年齢などに関わらず、誰もが楽しめるスポーツに取り組み、交流を通じ、障害に対する理解を深めます。
- ・ ライフステージに応じたスポーツ活動に取り組み、健康長寿日本一を継続します。
- ・ 両大会にゆかりのある、滋賀のアスリート等と交流します。
- ・ 両大会のイメージダンスを覚えて、踊ります。
- ・ 両大会をはじめとする各種競技会などに出かけ、観戦・応援します。
- ・ 地域のスポーツ活動を応援します。

**(3) 大会やイベント会場に足を運んだり、ボランティア活動に参加するなどの関わりを通じて、みんなで一緒に大会や地域を盛り上げましょう。**

- ・ ボランティア活動の年間行動者率日本一を活かし、障害のあるなしや年齢に関わらず、県民総参加で取り組みます。
- ・ スマートフォン・パソコン所有率日本一を活かし、大会に関するイベント等の情報をSNS等で発信します。
- ・ 子ども・若者・女性の関心を高める広報やイベントを通じて、両大会の参加を促します。
- ・ 開・閉会式など両大会の関連イベント・行事等に参加します。
- ・ 両大会に関するボランティア活動に、積極的に参加します。
- ・ 両大会をはじめとする競技会などに出かけ、あたたかく応援します。
- ・ 両大会のイメージソングやイメージダンスによって、心をひとつにして盛り上げます。
- ・ 募金や企業協賛で、両大会の開催準備・運営を支援します。

**2 取組の進め方**

- (1) 県準備（実行）委員会は、全体的な計画や取組を定め、この運動の普及・啓発活動を行うとともに、**市町市町準備（実行）委員会**や各種団体等と連携し、全県域における運動を展開します。
- (2) 市町準備（実行）委員会は、地域の特性に応じた計画や取組を定め、地域における普及・啓発活動を行うとともに、地域住民や各種団体等と協力し、市町における運動を展開します。
- (3) 学校や企業、NPO法人、各種団体等は、それぞれの活動の中でその特徴を活かした県民運動を企画し、取組を行うとともに、県および市町ならびに各主体の運動に参加・協力します。

**3 主な推進スケジュール**

年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
	5年前	4年前	3年前	2年前	1年前	開催年
	開催内定		開催決定		リハーサル大会	リハーサル大会 大会開催
計画など	基本 県民 計画 運動	ブ ア ロ ク グ シ ラ ヨ ム ン				
関連イベント	開催内定 周知活動		開催決定 イベント		開催1年前 イベント	開催直前 イベント

審議事項（２）  
については別冊  
にて配布

## 參考資料

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会 県民運動基本計画（案）に対する、  
 広報・県民運動専門委員会委員および市町ならびに全国障害者スポーツ大会専門委員会委員からの意見

提案者	該当箇所	意見	修正前	修正後
広報・県民運動専門委員会	前文	レガシーという言葉は、年代によってはわかりにくいと感ずることがある。	「県民」・「来県者」がともに満足し、「滋賀県」にレガシーを遺す「三方よし」の大会を実現するために、以下の取組を推進します。	「県民」・「来県者」がともに満足し、「滋賀県」に <u>将来に渡って引き継がれる</u> レガシーを遺す「三方よし」の大会を実現するために、以下の取組を推進します。
全国障害者スポーツ大会専門委員会	1取組（1）について	「福祉先進県として、県民の誰もが、思いやりの心をもって、障害のあるなしに関わらず、訪れる人が不自由なく快適に過ごせるようもてなします。」の文言について、『不自由なく』と文言が記載されているが、前面に『不自由』という言葉がでていることに違和感を感じる。	・福祉先進県として、県民の誰もが、思いやりの心をもって、障害のあるなしに関わらず、訪れる人が <u>不自由なく</u> 快適に過ごせるようもてなします。	・福祉先進県として、県民の誰もが、思いやりの心をもって、障害のあるなしに関わらず、訪れる人が快適に過ごせるようもてなします。
草津市	2取組の進め方（1）について	『県準備（実行）委員会は、全体的な計画や取組を定め、この運動の普及・啓発活動を行うとともに、市町や各種団体等と連携し、全県域における運動を展開します。』とあるが、「市町」ではなく「市町準備（実行）委員会」に修正してはどうか。	（1）県準備（実行）委員会は、全体的な計画や取組を定め、この運動の普及・啓発活動を行うとともに、 <u>市町</u> や各種団体等と連携し、全県域における運動を展開します。	（1）県準備（実行）委員会は、全体的な計画や取組を定め、この運動の普及・啓発活動を行うとともに、 <u>市町準備（実行）委員会</u> や各種団体等と連携し、全県域における運動を展開します。

その他

福井しあわせ元気国体(第73回国民体育大会)  
参加者アンケートの結果概要について

1. 目的

6年後に滋賀県で開催する第79回国民スポーツ大会の準備を進める上での参考とし、大会を成功に導くため、実際に大会に参加した関係者から意見を聴取する。

2. 実施時期

平成30年9月20日 結団壮行式で配付。会期前競技は郵送で協力依頼  
平成30年10月31日 締切

3. 対象者

377人(選手326人、監督51人)

4. 回答者数(回答率)

210人(選手179人、監督・コーチ26人、支援スタッフ等5人)(55.7%)  
(H30.12.3現在)

5. 項目別評価

(1) 競技運営について

良い←		→良くない			無回答
5	4	3	2	1	
79人	94人	29人	3人	1人	
38%	45%	14%	1%	1%	1%

(良かった点)

- ・とても親切で、明るく笑顔で元気いっぱいの対応で、私まで元気をいただきました。  
“福井しあわせ元気国体”にふさわしかったです。(陸上競技)
- ・誘導や丁寧な対応で、移動など分かりやすかった。(競泳)
- ・判断が早かった。(テニス)
- ・毎日、とても快いあいさつをしていただきました。(バレーボール)

(良くなかった点)

- ・招集所が寒かった。(競泳)
- ・選手控え室が例年に比べ狭かった。(レスリング)
- ・バッシュと外靴の区別する場所が無かった(バスケットボール)
- ・練習水域がよく判らなかつた。(カヌー(スプリント))

## (2) 会場となった施設について

良い←					→良くない	
5	4	3	2	1	無回答	
81人	80人	36人	8人	2人	3人	
39%	38%	17%	4%	1%	1%	

### (良かった点)

- ・控え室と体育館（フロア）への距離が近くて、移動が楽でした。（バレーボール）
- ・試合会場と練習会場が近いのはよかった。（アーチェリー）
- ・観客席が充分にあることが、選手、応援にもストレスがありません。（空手道）
- ・会場は駅から近く、応援に来てもらいやすかった。スイムコースは波がなく、泳ぎやすかった。（トライアスロン）

### (良くなかった点)

- ・室内練習場が狭い。（高校野球）
- ・更衣室・トイレがテントから遠い。売り場も遠い。（カヌー（スプリント））
- ・着替え場が無かった。大トイレが無く、混雑していた。自転車スタンド（自作）がもろく、自転車が心配だった。（自転車）
- ・AR射撃場の後ろの通路がもう少し、広ければ良いと思った（ライフル射撃）
- ・控え室をもう少し外から見えないようにして欲しかったです（着替えの時）。（バレーボール）

## (3) 「おもてなし」について

良い←					→良くない	
5	4	3	2	1	無回答	
89人	59人	35人	11人	2人	14人	
42%	28%	17%	5%	1%	7%	

### (良かった点)

- ・試合会場内で、飲み物が提供されており、助かった。（バレーボール）
- ・無料の飲食提供、お土産の販売、テニスのガット交換等、良かった。（テニス）
- ・美味しい特産品が食べられた。（競泳）
- ・明るく提供して下さった点が良かった。（水球）

### (良くなかった点)

- ・全体的に数量が少なかった。案内が分かりにくかった。（テニス）
- ・グッズ・特にお菓子等のコーナーが無く、確実に需要があるのに残念だった。経済効果もあるはずなのに...（ライフル射撃）
- ・地元の参加も無く全くおもてなし感が無い。（馬術）

(4) 宿舎について

ホテル	旅館	民宿	無回答
81人	31人	92人	6人
38%	15%	44%	3%

良い←					→良くない		
5	4	3	2	1	無回答		
65人	55人	46人	20人	5人	19人		
31%	26%	22%	10%	2%	9%		

(良かった点)

- ・とてもキレイで良かった。駅前もいろいろな施設があった。(自転車)
- ・風呂が24時間使用できたのは良かった。(剣道)
- ・民宿の人が丁寧に一つ一つ対応してくれた。(アーチェリー)

(良くなかった点)

- ・共同トイレ、洗面でした。特に女性には厳しい環境でした。(空手道)
- ・隣の部屋の音が少し気になった。灰皿があって不快だった。(トライアスロン)
- ・通信環境が悪い。コンビニ等が周りに無いため、少し不便に感じた。(体操)
- ・洗濯機がなかった。バスタオルを替えてくれない。冷蔵庫に鍵がかかる。(カヌー(スプリント))

(5) 食事について

良い←					→良くない		
5	4	3	2	1	無回答		
80人	60人	44人	16人	4人	6人		
38%	29%	21%	8%	2%	3%		

(良かった点)

- ・バランス良く、温かいものを食べさせてもらえた。本当に美味しかった。(カヌー(スラローム))
- ・ある程度バランス良く。あくまで選手の栄養面・体調面を考えたものである。悪くない。(ライフル射撃)
- ・昼の弁当がすごく美味しかった。(馬術)

(良くなかった点)

- ・油ものが多かった。(バスケットボール)
- ・全チーム同じ宿舎に泊まっていて、ご飯の時間帯が同じで、スムーズにご飯がとれなかったこと。(バレーボール)
- ・朝ご飯が多すぎた。夕ご飯で量が多いときと、少ない時があった。(テニス)

(6) 会場への移動

良い←		→良くない			
5	4	3	2	1	無回答
61人	58人	43人	25人	12人	11人
29%	28%	20%	12%	6%	5%

(良かった点)

- ・県ごとにバスの配車があり、時間指定できた。(競泳)
- ・最終日には要望を聞いていただき、臨時シャトルバスを出して頂けた。(陸上)
- ・会場とシャトルバスまでの近さ、駐車場までの距離は近くて行動しやすかった。(ライフル射撃)

(良くなかった点)

- ・自家用車 or レンタカーがなかったら大変でした。(剣道)
- ・宿舎－会場間で事故をしないか(山道なので)少し心配した。(カヌー(スラローム))
- ・バス乗り場まで少し遠かった。(競泳)
- ・シャトルバスがすぐ満員で発車していた。(ライフル射撃)

(7) その他

- ・おもてなしがとてもすばらしかった。福井の特産品を知ることができて良かった。(ライフル射撃)
- ・約50年に一度の国体。地元でやる意義の大きさに今更気づく！(ライフル射撃)
- ・宿にコインランドリーが欲しい。コインランドリー店が多い方がいい。(カヌー(スプリント))
- ・一つの建物の中において行動する、という選手達の動きは分かりやすく、観客席にての控え室は初めてでした。(なぎなた)
- ・台風が接近している中でも開始時刻や距離を変更して開催して下さり、本当にありがとうございました。(トライアスロン)
- ・雨の日に開会式はやめた方がいい。(高校野球)
- ・石川県での開催でしたが、施設面で申し分なく、無理に屋外でやったり、古くなった施設利用でなく良かったです。(飛込)
- ・各都道府県の宿泊が遠いことや、会場が狭く、観客が少ないので、盛り上がりがない。(レスリング)
- ・書道のパフォーマンスを見て、その文字が毎日会場で見れたことは、今まで無かったので、すごく印象的なものとなりました。(バレーボール)

## (8) 滋賀で開催する国体に向けて

### <開催準備>

- ・会場が“キレイ”であることが重要です。また、スタッフの笑顔も必要です。(空手道)
- ・選手が競技に集中できる環境を考えていただければと思います。(トライアスロン)
- ・地元開催だからこそ、地域の方々に応援され、感動を与えられると、福井国体で改めて感じました。県外開催では、盛り上がりには欠け、選手のモチベーションも上がりません(練習も県外の射撃場だと気を遣います)以上の事から、滋賀国体では県内で必ず行うべきだと思いました。(ライフル射撃)
- ・県内開催だからこのおもてなしができるんだなと感じました。また、県内で開催することで、いろいろな経済効果があるんだなと感じました。福井の方は射場の整備やジュニア育成に取り組まれていて、何年もの積み重ねが結果を結ぶのだと思いました。県内射場を作っていただき、いち早く、練習に励みたいと思います。(ライフル射撃)
- ・会場はぜひ滋賀で。(馬術)

### <競技運営>

- ・公平で選手ファーストであることを望みます。(競泳)
- ・審判の育成が非常に重要。経験を積んでもらう為の場を県協会から提供する必要あり。(テニス)
- ・選手、応援者が自家用車無しでも不便無く会場に行けるようにしてください。(剣道)
- ・野球の場合は雨天になった場合の室内練習場の確保が重要になると思った。今回は初回から雨天で、12チームの割り当ては大変だったと思った。(高校野球)

### <施設整備>

- ・陸上競技場の室内サブグラウンドが良かったので、滋賀県も作った方が良くと思う。また、サブグラウンドに跳躍マットがあったのも良かった。(陸上)
- ・雨天練習場の使い勝手が良く、あれば良いなと思った。(陸上)
- ・サブトラに電光掲示板があると、会場の様子が分かるのでいいと思います。(陸上)
- ・9レーンにしてほしい。全面スタンドにしてほしい。(陸上)
- ・それぞれの競技の発展の為にも、特設会場でなく、ずっと残して欲しい。(カヌー(スラローム))
- ・広い会場で宿泊施設から近い方が、選手のモチベーションやコンディションも上がると思う。(レスリング)
- ・テニスコートのホスピタリティー((国体) トイレや雨天時の休憩所等)が心配である。コート面数や雨対応力が心配される。コートは少なくとも透水型にすべきである。現状、大石は表面排水型である。(テニス)

### <宿泊・食事>

- ・お弁当以外に、気軽に購入できる補食を用意してもらえると良い。選手の中には、アレルギーや量が足りないと感じている人も多い。会場内のブースに、おもてなし料理以外におにぎりやパン、フルーツを置いて欲しい（近くにコンビニなどがあれば問題なし）。(テニス)
- ・今回の福井国体では、宿に他県は1県しかいませんでした。私は他県との交流も国民体育大会の1つでもあるので、1つの宿に多くの県を入れていけば良いと思った。  
(自転車)
- ・宿に洗濯機・コインランドリーを増やす。選手の事を考えた食事。(カヌー (スプリント))
- ・選手団が宿泊するところには、気を遣い、快適に過ごしてもらえる環境を整えるのがとても大切だと思います。スタジアムや会場だけでなく、弁当とかそういったおもてなしの部分大切にしてもらいたいです。(高校野球)

福井しあわせ元気大会（第18回全国障害者スポーツ大会）  
参加者アンケートの結果概要について

1. アンケートの目的

6年後に滋賀県で開催する第24回全国障害者スポーツ大会の準備を進める上での参考とし、大会を成功に導くため、実際に大会に参加した関係者から意見を聴取する。

2. 実施時期

競技終了後、配付。

平成30年10月31日 締切

3. 対象者

72人（選手38人、役員34人）

4. 回答者数（回答率）

63人（87.5%）

5. 項目別評価

(1) 競技運営について

良い ← → 良くない

5	4	3	2	1
18人	18人	19人	4人	2人
29%	29%	30%	6%	3%

無回答
2人
3%

(良かった点)

- ・時間通りの進行で素晴らしかった。(陸上)
- ・競技が終わった後に「お疲れ」と言われました。(陸上)
- ・可愛い形のメダルがもらえて嬉しかった。(FD)
- ・はぴりゅうが応援に来てくれて喜ばれていた。(ボウリング)
- ・滋賀県の試合ではフェアな試合ができるよう、丁寧な準備をしていただけた。判定もフェアでした。(ソフトボール)

(良くなかった点)

- ・待ち時間が長く、体が冷えた。(陸上)
- ・スターティングブロックを使うのに用意ができていなかったのが、不安になりました。(陸上)
- ・重度障害の選手の退水のサポート(介助)がうまくできていなかった。(水泳)

- ・的の方向が良くなかった。(アーチェリー)
- ・試合終了から閉会式が始まるまで、2時間も待たされた (S T Tが終わるのを待っていたようだ)。(卓球)
- ・各サイトの記録が全く表示されていなかったなので、今の状況が把握できない。表示板等が必要と思う。(F D)
- ・途中で2コートになったのは嫌だった (3サイト設営で投げるのと、2サイト運営で投げるのでは、不公平) (F D)
- ・一般観客が結局競技場内に侵入されていた。(F D)
- ・待機所での防風対策がされていなくて寒かった。(ボウリング)
- ・本部に確認してもらってもすぐに回答してもらえず。細かいところまで、現場で動く職員が指示をされていない。(ソフトボール)

## (2) 会場となった施設について

良い←

→良くない

5	4	3	2	1
20人	15人	19人	2人	3人
32%	24%	30%	3%	5%

無回答
4人
6%

### (良かった点)

- ・日本記録が出た会場だったので、走りがいいがあった。(陸上)
- ・メイン競技場とサブ競技場が近かった。(陸上)
- ・競技スペース、招集場所、観覧席がすべてドームの1階にあり、移動がスムーズだった。(卓球)
- ・風が良い感じに吹いていた。(F D)
- ・観戦スペースも広くはないが、多少あり良かった。(ボウリング)
- ・土が固く、足が動かしやすく、とてもボールが投げやすかった。(ソフトボール)

### (良くなかった点)

- ・トイレが遠い。招集場所の近くに無かった。(陸上)
- ・プールサイド(移動する通路)が狭く、車椅子移動がしにくい。(水泳)
- ・アッププールがない。(水泳)
- ・競技終了後、体が濡れたまま退場させられ、寒い中表彰準備をさせていた。(水泳)
- ・待機テントと射線が離れていて、天気が悪ければ移動が大変だと思った。(アーチェリー)
- ・足場の凹凸で立ちにくかった。(アーチェリー)
- ・国体と会場は原則として一緒の会場と聞いていたのに、全然違うところであったので、「何で」と違和感があった。実際に会場は広いものの、観客の立場からして、真

ん中のコートは遠すぎて、カウントも見えない。国体では体操会場だったとのことですが、卓球では良い会場とは思えない。(卓球)

- ・様式トイレが少なくて困った。(FD)
- ・各県の選手控所にスペースがもう少しほしい。全員が座って待機するスペースが無かった。(FD)
- ・選手控所が駐車場で、周りは田んぼで風も強く、選手が体調を崩した。(ボウリング)
- ・グラウンドの水はけが悪い。(ソフトボール)

### (3) 「おもてなし」について

良い←

→良くない

5	4	3	2	1
21人	15人	16人	3人	3人
33%	24%	25%	5%	5%

無回答
5人
8%

#### (良かった点)

- ・地元の名物がいっぱいあって、とてもよかった。(陸上)
- ・ドリンクサービスは地元でしか売っていないメロンソーダみたいなものが置いていた。(FD)
- ・福井の人たちの温かさ優しさを感じることができ、また来たいと思った。(陸上)

#### (良くなかった点)

- ・おもてなしをどこでしているのかPRをしてほしかった。(卓球)
- ・大豆おにぎりがあったのみ、しかも十分な量ではない。(アーチェリー)
- ・時間が少なくて、回れなかった。(ソフトボール)
- ・無料の食べ物は、各県選手スタッフは事前に必要数を聞いて、別に準備し、一般の人と分けて提供できればよい。(FD)

### (4) 宿舎について

ホテル	旅館	民宿	その他
13人	49人	0人	0人
21%	78%	%	%

無回答
1人
1%

良い←

→良くない

5	4	3	2	1
21人	22人	12人	4人	2人
33%	35%	19%	7%	3%

無回答
2人
3%

(良かった点)

- ・ミーティング場所等、急なお願いにも対応いただき、助かった。(陸上)
- ・温泉だったこと。(陸上)
- ・駅前のビジネスホテルで、近くにお店もあり、便利でよかった。(卓球)
- ・大変温かく親切な対応。(ソフトボール)

(良くなかった点)

- ・エレベータ待ちが多かったので、もう少しエレベータが欲しい。(水泳)
- ・10人一部屋はよくないと思う。選手の関係性が悪化するケースが出た場合、大変。特に負けた後などは不安定になる。(ソフトボール)
- ・施設内にランドリーがなかったが、コインランドリーまで車で10分かかるため、洗濯ができなかった。(ソフトボール)
- ・ペット同伴可という部屋なので、アレルギーのある人は×。(アーチェリー)

(5) 食事について

良い←

→良くない

5	4	3	2	1	無回答
25人	17人	15人	4人	0人	2人
39%	27%	24%	7%	0%	3%

(良かった点)

- ・バイキング形式で、自分のお腹にあわせ食事ができた。(卓球)
- ・バランスの良い食事を出してもらい、とてもよかった。(水泳)
- ・競技会場での弁当は地元のをたくさん使っており、わかりやすくメニューが表記されていた。(陸上)
- ・お弁当はアレルギー対応できないとのことだったが、アレルギー表示はきちんとあり、良かった。(FD)

(良くなかった点)

- ・野菜量が少ない。(FD)
- ・弁当が毎回同じ内容だった。(ソフトボール)
- ・3日間連続でカレーが主食では家族を連れてきたいとは思わない。(ボウリング)
- ・ご飯の配膳は給仕ではなく、セルフサービスの方が待ち時間が短くなると思う。(陸上)

(6) ボランティアについて

1) 「選手団サポートボランティア」について

良い←		→良くない			
5	4	3	2	1	無回答
37人	16人	6人	2人	2人	0人
59%	25%	10%	3%	3%	0%

(良かった点)

- ・一生懸命何をしたらよいのか聞いて動いてくれた。(陸上)
- ・一生懸命応援してくれた。(FD)
- ・応援幕を作って、一体となって応援してくれた。(ボウリング)
- ・全体的なことをしっかりと理解しておられ、スムーズに対応いただけた。(FD)
- ・毎回思うが、本当によくしてもらい、感謝です。(卓球)

(良くなかった点)

- ・前日練習の日と競技の日の3日間のボランティアが交替されたこと。なぜ4日間同じ人ではなかったのか。(陸上)
- ・車椅子介助の研修を受けていないようで、段差の前輪をあげずに車いすを押して、危ない場面があった。(水泳)
- ・公式練習から宿舎に帰る際、バス駐車場所への最短の出口を確認されておらず、会場を一周するくらいの無駄な誘導があった。(卓球)
- ・地元のことをあまり知らないようだったので、事前に勉強しておけばよいと思った。(FD)
- ・消極的な人ばかりで、言わないと動けませんでした。(ソフトボール)

2)「各競技会場におけるボランティア」について

良い←		→良くない			
5	4	3	2	1	無回答
26人	18人	13人	2人	0人	4人
41%	29%	20%	3%	%	7%

(良かった点)

- ・荷物を持ってもらった人が「頑張ってください」と言ってくれてうれしかった。(水泳)
- ・IDカードなどのチェックをしっかりとされていた。(水泳)
- ・尋ねたことに笑顔できびきびハキハキ対応しておられた。(卓球)

(良くなかった点)

- ・コール後の係員の指示の音が小さくわかりにくかった。(陸上)
- ・関わり方に関し、個人レベルでの当たりはずれがあるように感じた。ボランティア

の研修が必要。(水泳)

- ・競技会場で私の担当になってくれたボランティアの少年が野球部でアーチェリーの経験が一切なかったので任せるのが不安だった。(アーチェリー)
- ・もてなす気持ちがあまり伝わってこなかった。しんどそう、淡々と仕事をこなす。(ソフトボール)

#### (7) 会場への移動について

良い←		→良くない			
5	4	3	2	1	無回答
19人	12人	21人	8人	1人	2人
30%	19%	33%	13%	2%	3%

#### (良かった点)

- ・各県選手団ごとの配車。他県の選手団の乗合が無かった。(陸上)
- ・1時間以内の移動時間は選手にとって有り難い。(陸上)
- ・全体にコンパクトで移動時間が短い(10分)。宿舎でゆっくりできた。(FD)
- ・バスは安全運転で安心して乗っていられた。(ソフトボール)

#### (良くなかった点)

- ・閉会式会場から宿への移動が予定より1時間以上遅れた。閉会式後の渋滞を見込んでいると、宿についてからの食事時間等の予定もたてやすい。(FD)
- ・時間の余裕がなく、ばたばたしていた。(ソフトボール)
- ・バスの駐車場の足場が悪かった。選手の安全を考えると危ないと感じた。(陸上)

#### (8) その他

- ・初めて参加したが、とても感動した、障害の有無にかかわらず、人と人とのつながり、温かさを感じることができ、うれしかった。
- ・福井の人の優しさが伝わりました。
- ・水泳会場の駐車場運営は心配りがあり、どこに自分たちの乗るバスがあるか、すぐにわかるようにホワイトボードとバス前の三角ポールに県名が掲示されていた。
- ・宿舎に対するアレルギー調査は、食品のみでなく、動物もするべき。(ペット同伴可の宿が含まれる可能性がある)
- ・国スポと障スポの融合は素晴らしい。
- ・フライングディスク会場周辺の盛り上がりがもう一つのように感じた。のぼり旗も少ないし、ムード作りにもう少し工夫が欲しい。
- ・フライングディスクは開会式場にも比較的近く日程も時間的余裕があったので開会式に参加できるように考えてほしかった。

- ・福井県ばかりへの配慮が目立ち、気持ちのいい大会とは言えませんでした。
- ・お土産を買う時間が10分しかありませんでした。
- ・細かい連絡が入ってこなかったり、会場での準備物が整っていなかったり、少々不満。(閉会式の入場規制など) 行程上難しいと思うが、はぴりゅう広場等での時間を遠方会場競技の選手にも確保いただきたい。

## (9) 滋賀で開催する大会に向けて

### <開催準備>

- ・開催県ならではの大変さや課題はしっかりと引き継ぎ、よい運営になるようにしてほしいと思う。「滋賀ならではの」の大会になるように協力したい。
- ・会場→宿舎への移動における無理、無駄のない動線確保を。閉会式後のバスが到着しておらず、30分遅れ。
- ・競技ごとの分宿となった福井大会。一長一短はあると思うが、移動時間をできるだけ短時間に行ける場所を考慮してほしい。
- ・各競技にあわせたボランティアが必要。
- ・ボランティアの人に簡単な手話を覚えてほしい。
- ・総合開会式にはみんな参加したい。競技運営だけでなく、滋賀の魅力を知ってもらえるような取組に期待します。
- ・6年先までまだまだと思うが、市町村向けのPRも広めていただきたい。
- ・土日は関係者や一般の応援も多いが、最後の月曜日は減るので近くの小中学生が応援に来てくれて盛り上がった。応援者を計画輸送のバスを使って集められてそうです。応援者を集める工夫もお願いします。
- ・他県の方にも気持ちよく過ごしてもらい、プレーしてもらえる環境、対応を真剣に考え、取り組む必要がある。
- ・滋賀県も宿泊施設や競技会場が決して十分とは言えないので、競技ごとの設定をしっかりとしていく必要がある。机上での想定だけでなく、実際に選手団として動いているものの意見を大切にしてほしい。視察員として大会に職員を派遣しているが、それぞれのテーマを絞って、選手団の声を拾いながら視察しなければ視察の意味はないと思う。

### <施設整備>

- ・水泳会場は施設面のクレームが多かった。県では新設になるので、使いやすいプールになるようにお願いしたい。

### <競技力向上>

- ・主会場、団体競技の育成等課題が未だに山積みのように思います。「あと5年」をどのように進めていくかの計画を踏まえたアクションを起こしていくことが急務と感じます。